

授業分析による授業法の改善

Methods to Improve Teaching through Class Analysis

尚 真貴子

Makiko Sho

Abstract

In order to improve the teaching method, the teacher needs to take an objective view of the class pattern. “Foreign Language Interaction Analysis System” and “Foci for Observing Communication Used in settings” were employed for class analysis. As a result, it was found that the teacher should positively support the students’ active participation and enthusiasm for the class. Additionally, a survey of Japanese language major students was conducted for the improvement of teaching methods.

はじめに

近年、日本語教育の分野においては、オンラインコースを利用した研修が注目を浴びている。そこで、2006年10月から2007年1月まで行われた日本語教育学会の教師研修の一環である、「オンラインコース：授業分析」を通して今後のより良い授業展開について検討を行った。授業分析の目標は、①授業を客観的に把握し、授業中でのコミュニケーションの特徴を発見する能力を身につける、②評価的な判断をせずに、授業について議論できるようになるというものであった。筆者は長年、留学生の授業を担当して、授業そのものを客観的に分析する方法論についての研究を知り得なかった。通常、大多数の教官は時間に追われ、心理的に余裕が持てないというのが現状であるが、そのような中でも最低おさえておかなければならないことは授業分析であると考えられる。授業分析の方法を学ぶことによって自己点検を可能にし、それが次の授業へのステップになると思われる。

したがって本稿では、オンラインコースで示された3つの分析方法（文字化分析・モスコヴィッツのFLintシステム分析・FOCUSの分析）を通し、さまざまな角度から授業分析を行い、その効果を検証した。加えて、日本語教育副専攻課程の学生に実施したアンケート調査を参考に授業改善へのアクション・リサーチを行なった。

1. 授業分析

日本語教育における授業研究の焦点は、①学習者がどのように学習を進め、その学習過程をどう認識しているのか、②教師による質問や発話のタイプ等、教師はどのような教授行動をとるのか、③教師・学習者の関係はどのようになっているか等の3領域にあてられている。授業研究のためのデータには、授業観察、授業中の言語行動の観察の記録、授業後につけられる内省記録、アンケート調査やインタビューへの回答等、目的に応じてさまざまなものがある。また、日本語教育における授業研究の方法は、①量的データを統計やカテゴリー分析によって処理する研究、②内省を取り入れた質的研究、③エスノグラフィックな研究の3つに分けられている。①のタイプの研究には、教師と学習者に授業についてのアンケート調査を行い、学習観・教育観を比較するものや授業観察により得られたデータをあらかじめ準備されたカテゴリーシステムに従って分類し、

頻度として積算するものもある。その例としてFLintやFOCUS等の分析システムがある。それらは、授業中の教師・学習者の認知処理過程が学習結果に影響するという仮定のもとに、結果と要因の因果関係を明らかにすることを目標としたものである。②のタイプは、観察できる行動だけではなく観察では見えてこない部分を明らかにすることを目標としている。データはインタビューや日記等から集められる。③のタイプは、社会的・文化的背景を基に教師や学習者の行動を詳細に分析し解釈を行う研究である。以上のように、授業研究の方法にはさまざまなものがあるが、今回は最初のステップとして①の量的データを統計やカテゴリー分析によって処理する研究の方法を試みた。教師のパターン化された授業を見つめなおす一つの方法に授業観察があり、本稿では、文字化分析、モスコーヴィッツのFLintシステム分析、FOCUSの分析の3種類の分析を行い、授業の雰囲気や授業のパターンを検討した。

1. 1 文字化分析

授業の観察・分析には、①授業を見学する、②授業を撮影し、それを後で見る、③授業を撮影・録音し、それを文字化して何らかの観点・手法で分析する、といった方法がある。授業を自分の目だけを頼りに見ることや記憶を頼りに振り返ることによって、わかることも多いが、限界もある。ここでは文字化をすることにより、何が可能になるかを考えてみた。

1. 1. 1 分析方法

授業を撮影（録音）し、シナリオに近い方法で文字化（資料1）した。その後、文字化した資料をもとに、教師の質問を display question (DQ) と referential question (RQ) の二種類に分けて考えた。前者 (DQ) は、「提示質問」と呼ばれ、その問いをした人がすでに答えを知っているものである。後者 (RQ) は、「指示質問」と呼ばれ、その問いを発した人はその答えを知らないというものである。以下は、文字化をする際に使用したルールである。

文字化の凡例：

T ; 教師 L 1 ; 学習者 L 1 L 2 ; 学習者 L 2

C ; 学習者全体 S S ; 複数の学習者

。 : 文末と思われるところ（改行する）

? ; 質問等、上がり調子のところ , ; 文の切れ目

... ; ポーズ () ; 笑い、ため息 【 】 ; 動作

/ ; 発話の重なり

(1) 撮影したクラス

科目名：「日本語会話・聴解Ⅱ」

対象：外国人科目等履修生

国籍：中国（男性8人、女性7人）、インドネシア（男性3人）

全員、日本語学校で1年～1年半日本語を学習した留学生

*日本語教育副専攻課程の学生が授業見学、アシスタント等で、12人くらい参加していた。そのため今回の授業には学習者の側に日本人が座るという授業形態になった。

教科書：聴解（45分）『毎日の聞きとり Plus 40 下』 26課

会話（45分）『会話に挑戦！』 11課

日時：平成18年11月8日（水）1校時9：00～10：30

(2) 授業の流れと内容

(0～3分) 出席確認 ⇒ (3～5分) 連絡事項 ⇒ (5～20分) 聴解のテキスト 26課『一番上の子は神経質？』に入る。「はじめに」の部分に性格について書いてあるので、日本人学生とペアになって、インタビューし合う。質問事項は、「長女？長男？次女？末っ子？一人っ子？」「性格は？」等 ⇒ (20～25分) 何人かに長女、長男、次女・・・等の性格を黒板に書いてもらう ⇒ **(25～28分) 黒板に書いてあるものを見て、特徴をとらえる・教科書の新出語彙を読んでもらう・語彙の確認** ⇒ (28～35分) テープを聴く ⇒ (35～40分) テープを聴いて教科書の練習問題を解く ⇒ (40～45分) 解答・スクリプトを配って読み練習、内容が理解できているか確認 ⇒ 聴解は終了して会話のテキストへ

*太字の部分は文字化した部分（3分間）である。

1. 1. 2 分析結果

90分の授業を全て撮影し、その内の最初の45分間は聴解のクラスであるが、文字化した部分は、授業開始後の9時25分から約3分間である。撮影あるいは録音することによって、授業を振り返るための貴重な機会となった。以下の5つは、文字化した際に顕著に表れた点である。

(1) 発話の少ない学生

クラスの中では、発話をする学生に偏りがある。それで、発話をあまり積極的にしない学生には、教科書の単語を読んでもらった。一人ひとりに話してもらうために、質問を個人に向け、発話を促がそうとしても、全員が一斉に答えるか、積極的に話す人のみが発話するかである。2～3分の文字化分析をしてみると、18人中9人が発話をしていた。63回の発話中、学習者が発話をした回数は32回で、SS（複数の学習）は6回、L1（学習者L1）は4回、L4・L6・L8・C（学習者全体）はそれぞれ3回、L2・L7・L9はそれぞれ2回、JS（日本人学生）は2回、L3とL5は1回の発話であった。

(2) 言葉の繰り返し

教師は学習者が言った言葉を繰り返し言っていることが以下のように多かった。教師の発話 31 回中 14 回は、学習者の言った言葉を繰り返している。

L 2 : のんびり。

T : のんびりね。そうですね。・・・長男の特徴は？

L 3 : あまり緊張しない。

T : 緊張しない。

学習者の答えを繰り返すのは、教師が学習者の発話のどこかが間違っているということの間接的にフィードバックするためや、教師のモデル発話を真似てもう一度発話してもらいたいということが考えられる。中級レベルではキーワードを何回か繰り返し、同じ言葉を言い過ぎているのはしつこい印象を与える。

(3) 教師の発話

教師の発話の回数は、63 回中 31 回で、いかに発話が多いかは文字化をすると顕著に表れる。できるだけ学習者に話させようと心がけていても実際はそうではないということもわかった。また発話の長さに関しては、一般的に初級学習者には一文を短く簡潔にわかりやすく言うのに比べて、中級学習者には一文が長い上に一回の発話の量が説明等で多くなる場合がある。さらに文体は丁寧体になったり普通体になったりしている。初級では、ティーチャー・トークを意識しているが、中級のクラスでは、日本人学習者に話すのと変わりがなくらいの話し方で早口であった。「えー、あー、えーと」等のフィラーや、何度も使ってしまう言葉の癖のようなものは、それほど見られなかった。学習者の誤用のフィードバックは、学習者が教科書を読んでいて発音を間違えたら、すぐに訂正をしていた。

(4) 学習者の発話

学習者の発話から助詞が抜け落ちている場合が多いということがわかる。また中級であるにもかかわらず単語レベルで会話が進み、最後まできちんと言い終わっていない。32 回の発話中 30 回が普通体での発話であった。以下に例を挙げる。

SS : 神経質じゃない。

T : みんな、神経質じゃない。いいですね！(笑い)

L 1 : 少しある。

T : どんなの？神経質って？L 1 さん

L 1 : 例えば、出かけた後で、ドアを閉めたかなあって気にする。心配。

(5) 質問

質問は教師からの場合が多かった。63 回の発話中、教師の発話は 31 回でそのうち 22 回が質問であった。授業中に話しているときは、全然気づかないものだが、文字化をして分析してみると、質問行動にも違いがあるということがわかる。初級のクラスでは、「これは何ですか。」という教師の質問に対して、「これは本です。」というような、

その問いをした人がすでに答えを知っているDQ（提示質問）が多いと思われる。一方、中級クラスになると「長男の特徴は？」という質問に対して学習者がどんな答えを出してくるのか知らないRQ（指示質問）が多いように感じられる。それは、おそらく中級学習者は語彙数が増え、文法力が伸び、表現力が豊かになるにつれて教師が知識として持っていない意外な答えを出してくる可能性が考えられるからである。しかし、今回の結果は22回の質問中DQ（提示質問）は11回、RQ（指示質問）は11回であった。

また、学習者に質問する際、ランダムに当てるのと順番に当てる方法があるが、順番通りに当てる方法しかとっていなかった。

1. 2 モスコーヴィッツのFLint システム分析

授業におけるやりとりを分析するシステムとして、モスコーヴィッツ (Moskowitz, 1976) が開発したFLint (Foreign Language interaction) システムがある。FLint システムは「外国語相互作用分析システム」とも呼ばれ、外国の授業は教師と学習者の相互から成り立つと考えられている。この分析は教師の行動と学習者の行動を分類し、各カテゴリーの頻度と順序を把握し、授業の全体像を表そうとするものである。モスコーヴィッツのFLint システムは、フランダース (Flanders, 1970) が開発したFIAC (Flanders Interaction Analysis Categories) システムをモスコーヴィッツが外国語教育に応用したものである。モスコーヴィッツのFLint システムは、FIAC システムの基本10項目（1. 学習者の感情・態度の受容、2. 学習者への賞賛・激励、3. 学習者のアイデアの受容・使用、4. 発問、5. 講義・説明、6. 指示・方向付け、7. 批判・正当化、8. 単純応答、9. 自主的発言、10. 沈黙・ポーズ）に新たな項目が加わったり、カテゴリー名が修正されたり、カテゴリーが細分化されたりしている。それらの部分は、例えば2a. 冗談、5. 情報提供、5a. 否定的でない訂正・修正、11. 活動による混乱、12. 笑いなどである。

1. 2. 1 分析方法

文字化分析に使用した資料（#1～63）にあと3分間の文字化資料（#64～96）を加え、約3秒を目安に発話を区切りFLint システム（資料2）の12種類（+α）のカテゴリーで以下の例のようにコーディングした。

例)	T : 東海大学の医学部の調査でわかったということですね。	3a
	何人ぐらいのお母さんにアンケートをとりましたか。	4
	C : 1,000人。	8a
	T : 1,000人だったね。1,000人	3a
	それで、結果、一番上の子供は下より何と言っていますか。	4
	C : 神経質	8a

その後、こういった発話が多いのか、そしてやりとりがどう連鎖しているかを見るために、マトリクス（資料3）にやりとりの組み合わせを入れ込んでいった。例えば、上記の会話例は、3a-4、4-8a、8a-3a、3a-4、4-8a というやりとりで構成されていると考えられる。この数字の組み合わせの中で、前の数字を縦軸にとり、後の数字を横軸にとって、その交わるマス目に印を入れていった。全てのペアをマス目に入れた後、出現回数を集計したら分析用のマトリクスが完成する。なお、コードは以下の通りである。

- 【教師の発言】
 - 1. 学習者の感情への応対
 - 2. 学習者への賞賛・激励
 - 2a. 冗談
 - 3. 学習者のアイディアの受容・使用
 - 3a. 学習者の発話の繰り返し
 - 4. 発問
 - 5. 情報提供（説明、講義、修辭的質問）
 - 5a. 否定的でない訂正・修正
 - 6. 指示・方向付け
 - 6a. 文型の機械的練習の指示
 - 7. 学習者の行動に対する否定
 - 7a. 学習者の誤答等に対する否定
- 【学習者の発言】
 - 8. 限定的な反応（限られた範囲の答え、閉じた質問に対する答え、音読）
 - 8a. 全体あるいは一部の学習者による一斉の反応
 - 9. 開かれた質問に対する答え、あるいは学習者主導の発言
- 【沈黙等】
 - 10. 沈黙・ポーズ
 - 10a. 視聴覚教材が使用されている間の沈黙
 - 11. 活動による混乱（同時に複数の学習者が発話すること等によりやりとりが記録できない状態）
 - 11a. 活動と無関係の混乱（活動とは関係ないことで騒いでいるためにやりとりが記録できない状態）
 - 12. 笑い
 - e. 母語使用（上記1.～9.のいずれかとともに用いる項目）
 - h. 非言語（言葉を使わずにジェスチャー、表情で伝える）

1. 2. 2 分析結果

上記のコードを使用しマトリクス数値集計を出した結果、発話数の合計が168、教師の発言（1～7a）は、97から100、学習者の発言（8～9）は、46であった。この数

字から教師の発言が多いことがわかる。つまり教師が質問して学習者が答えるというパターンで、いかに教師主導型であるかがわかる。

マトリクスからの分析結果では、教師の発言の場合は、「4. 発問」(37)、「3a. 学習者の発話の繰り返し」(19)、「5. 情報提供(説明、講義、修辭的質問)」(10)、「6. 指示・方向付け」(9~10)の順に多かった。

学習者の発言の場合は、「9. 開かれた質問に対する答え、あるいは学習者主導の発言」(27)、「8a. 全体あるいは一部の学習者による一斉の反応」(13)の順に多かった。また中級のクラスでは語彙力・表現力も増えているせいか「12. 笑い」(12~15)も多かった。一人ひとりの学習者を指名し、発話する機会を与えたいと思っはいるが、実際には質問は投げかけるだけで、答えさせるために学習者を指名していなかった。また、指名する前に積極的な学習者が答えてしまうので、どうしても発話する人としなない人に差が出てくる。一人ひとりに答えを言わせるというより、全体に発問し答えさせているというパターンが多いということは、「8a. 全体あるいは一部の学習者による一斉の反応」(13)の数値の結果からわかった。「1. 学習者への感情の対応」(5~9)、「2. 学習者への賞賛・激励」(7)も多かったが「そうですね」しか使っていなかった。

全く数字に表れなかったのは、「6a. 文型の機械的練習の指示」(0)、「7. 学習者の行動に対する否定」(0)、「7a. 学習者の誤答に対する否定」(0)等であった。「6a. 文型の機械的練習の指示」がなかった理由は、中級学習者で内容が聴解ということも考えられる。「7. 学習者の行動に対する否定」では、今回文字化した部分には、「静かにしてください」、「今、発表しているから、ちゃんと他の人の話も聞いてください」、「飲み物を飲まないで下さい」、「携帯電話を使用しないで」等というのが出て来なかった。普段このクラスは私語が多い上、母語〔中国語〕が飛び交ってうるさいため、学習者の行動に対する否定を何度も行なっていると思っていたが、それほどでもなかった。しかし、録画した授業を見ていると、授業中の様子がうるさかったので、もう少し私語に対して注意すべきだったのではないかと反省している。

数値の集計をすることによって、具体的な数字が出てくるのでより分かりやすくなる。何回ぐらい発話をしているか、どのパターンの発話が多いか、どのパターンの発話をしていないかなど、細かい傾向が見え、さらに詳しく客観的に授業を分析できると思われる。文字化した授業以外のクラスでも似たような傾向が出る可能性が予想されるので、そうすると今後、改善の必要となろう。

1. 3 FOCUSの分析

ファンズロー(J. Fanselow, 1987)が開発したFOCUS(Foci Observing Communications Used in Settings)を用いて分析(資料4)した。これは、日常会話や授業を含めたさまざまな場面におけるやりとりのパターンを見やすい形で表すために開発された道具である。授業談話の分析とは、教師が自分自身の授業のパターンを知ることを通して自己の

意思決定に影響を及ぼしている教育・学習感等に気づくこと、行動を縛っている見えな
いルールを客観的に捉えることによって広く柔軟な教授活動の探求を行なおうとするも
のである。その探求を可能とするものとして、FOCUSを用いた。

FOCUSでは、授業によるやりとりをコミュニケーションを構成する以下の5つの観点で
とらえている。第1の観点のSource/Targetとは、誰(何)が情報の発信源で誰が受け手
か、つまりコミュニケーションの方向を見る観点である。教師(t)、学習者(s)、クラス
全体(c)、複数の学習者(ss)、そしてテープの問題を聞いて答える練習などの活動では、
情報源がその他(o)と表記する。第2の観点の教室発話のMoveは4つに分類されている。
4つのMoveは、**structuring**(枠作り)、**soliciting**(応答要請)、**responding**(応答)、
reacting(反応)に分類されていて、それぞれ英語表記の最初の3文字を用いて表す。第
3の観点はMedium(手段)で、FOCUSでは言語(linguistic)、非言語(nonlinguistic)、
パラ言語(paralinguistic)、と沈黙(silence)に分けられている。言語(linguistic)の中
には、音声言語(la)、書かれた文字などの視覚言語(lv)、点字(lo)などがある。非言語
(nonlinguistic)には、BGM・ノイズ・咳(na)、絵・図(nv)、香り・温度(no)などがある。
パラ言語(paralinguistic)には、笑い・音調(pa)、ジェスチャー(pv)、相手との距離(po)
がある。第4の観点は、Useで媒介手段はどのように使われるかである。第5の観点は、
Contentでコミュニケーションの内容のカテゴリーである。このように5つの側面からと
らえることによって、直感の介入を防ぎ、パターンの把握がより客観的になると考えら
れている。また我々は、日常語を安易に用いることによって出発点や解釈のずれを見過
ごしてしまうことがあるが、それを避けるため、記号化された専門用語を使用するも
この道具の特徴である。

1. 3. 1 分析方法

本稿では、FOCUSの5つの観点のうち、3つ(Source/Target、Move Type、Medium)
で分析した。その理由は、①FOCUS全ての項目の理解・熟達ではなく、FOCUSの一部を利
用して、教授行動を客観的に把握する体験を目的としていること、②短期間でFOCUSによ
る分析の効果を得るには、今回の3つの項目を利用する方法が適切であること、③FOCUS
の観点の一部を利用することによって、「授業を観る視点」を訓練することが可能なこ
と、④FOCUSの一部を使って見えることはたくさんあること、⑤小さい変化は大きな変化
を誘導する可能性が大きいことであった。つまりFOCUSで見えたことの一つを変えてみる
ことによって授業全体が大きく変わる可能性があること等である。

表1 : FOCUSの5つのカテゴリー (Five Characteristics of Communication)

何が		どのように		
Source/Target だれ (何) が 誰 (何に) 向 けて	Move Type コミュニケーションの目 的は	Medium 媒介手段は	Use Medium はど のように使わ れるか	Content コミュニケーションの 内容は
(教室では) Teacher Student Other	<p>Structuring 次に何が起こる か既に行ったこ との announcement</p> <p>Solicit 応答要請 タスクを課す 質問する</p> <p>Responding 応 答 タスクを行う 質問に答える</p> <p>Reacting 反応 要請されないコ ミュニケーショ ン コメント</p> <p>*Bearing 頭を 掻くなど同時進 行する行動</p>	<p>Linguistic 言語 la : 音声言語 lv : 視覚言語 lo : 点字, モールス信号</p> <p>Nonlinguistic na : ノイズ, 咳 nv : 絵, 光, 図 no : 匂い, 温度</p> <p>Paralinguistic パラ言語 pa : 笑い, 音調 pv : ジェスチャ ー, 表情 po : 相手との距 離</p> <p>Silence 沈黙</p>	<p>Attend 受信 (黙読, 聴 くなど)</p> <hr/> <p>Characterize 同異判定, 正誤 判定, 数・大き さ・形など特徴 を示す</p> <p>Present 提示 : 陳述, 要 請, 質問など</p> <p>Relate , メタ 活動一般論を 引き出す, 例え る, 推測するな ど</p> <p>Reproduce 複製 : コピー, 与えられたも のをつなげる, 言い換え, 入れ 替え</p> <hr/> <p>Set テキスト, 例, モデル音・ 文など</p>	<p>Life 日常生活 : 形 式的挨拶, 個 人的感情, 個 人情報, 公的 情報など</p> <p>Procedure 手続き : 指名, 教師の命令, 教師の説明, 次への移行合 図, わかりま したか? など</p> <p>Study 言語構造, 言 語スタイル, 文化, 音声</p> <p>*Unspecified 特定できない もの</p>

John F. Fanselow, *Breaking Rules*, Longman, 1987.

1. 3. 2 分析結果

FLint システムで用いた資料と同じものを使用し、FOCUS の3つの観点から分析したことを以下詳しく見ていく。

(1) Source/Target について

ここでは、誰(何)が情報の発信源で誰が受け手か、つまりコミュニケーションの方向を見ていく。t (教師)⇔s(学習者)というパターンが多い。しかし、t (教師)⇒c (クラス全体) というパターンも多く見られ、教師はクラス全体に質問をしているのにもかかわらず t⇒s (ある特定の学生が答える) というパターンが多く見られた。#65あたりからテープを聴いてその内容について質問をしているので、o (情報源を表す) ⇒c というパターンになる。

Source/Target には、他に t⇔c、s⇔s、o⇔s/c、等のバリエーションが考えられるが、コミュニケーションの方向は、教師対一人ひとりの学習者タイプのやりとりが多いということがわかる。

(2) Move (目的) について

ここでは、sol (応答要請) ⇒ res (応答) ⇒ rea(反応)の連鎖が連続して現れていることがよくわかる。質問に対する応答があり、そしてその応答に反応が続くという形である。またその中でも教師が sol と rea をとる場合が多く、学習者が res をとる場合が多い。つまり Source/Target と Move の2つの観点から見ると、t(sol) - s(res) - t(rea) - t(sol) というパターンが連続していることがわかる。教師が応答の相手、応答内容、連鎖の開始・終了のすべてを管理するやりとりである。

(3) Medium (手段)

FOCUS では、手段を大きく4つに分けている。それらは、言語 (linguistic)、非言語 (nonlinguistic)、パラ言語 (paralinguistics)、沈黙 (silence) である。

ここでは、圧倒的に la (音声言語) が多いことがわかる。今回は中級の授業で、初級の授業のように la+nv(絵・光・図)のパターンがなかった。その代わり黒板に学習者が書いたものを見たり、教科書を使用したりしたので、la+lv (視覚言語) という傾向が見えた。またところどころに pv(ジェスチャー、表情など)も現れていた。CDの頭出しに時間がかかった部分は、s (沈黙) で、#66は、テープを流しているので、la+na (ノイズ・咳き) の組み合わせになっている。学習者全員が静かにテープを聴いている部分は、s+na である。

日常のコミュニケーションでは、音声言語以外に色々な Medium (手段) が使用されているにもかかわらず、音声言語を使用することに偏っているという結果が出た。

1. 4 授業分析のまとめ

「どの授業もその授業特有のパターンを持っている。そして教授活動の改善は、その授業のパターンを教師が客観的に認識することから始める」(文野 1991, p. 51) という

考えをもとに、3つの方法で授業を観察・分析してきた。一つ目は、授業を撮影・録音しそれを文字化して分析し(分析道具や観点を定めない自然体の観察)、教師の質問行動に焦点を絞った観察・分析の方法、二つ目は、FLint というカテゴリーシステムを知り、授業のやりとりを分析する方法、そして最後に、FOCUS の5つの観点のうちの3つの観点から分析する方法であった。

今まで、何年も留学生の授業を担当し、アイデアを出し工夫してきたつもりである。文野・金田(2006)は「いろいろ工夫しているつもりでも、無意識のうちに教師は自身の先入観や教育観に縛られて行動しているのです。授業に変化を起こすには、『教案(つもり)』ではなく、『実際に何が行われているかの検討(実態把握)』が必要です。そのためには、『期待と実際が一致していたかどうかを確かめる道具(特製のめがね)』が必要になります(p. 3)」と述べている。しかし、よい教室活動を行なうためには自分自身の行動を客観的に捉えなければならない。何年も教師を続けていて、授業を客観的に振り返ったことがなかったのは、反省すべきである。そこで、3つの方法で授業を観察・分析した中で、発見し考えたことを簡単にまとめていきたいと思う。

(1) 文字化分析

一度も自分の授業を録画したことがなかったのは、まず恥ずかしかったし、自分の下手な授業を見たくなかった(恐怖心)からである。しかし、今回の初めての録画をきっかけに定期的に録画をして自身の授業を観察する勇気が出てきた。

文字化をして気付いたのは、教師の発話が多いことであった。「留学生の声が聞こえないのは、いい授業ではない」と日本語教師を始めた時に上司に言われたことがある。その言葉が印象的で、常に教室内では学習者を中心にし、特に語学の授業なので、学習者には発話をたくさんしてもらおう努力をしてきたつもりであった。しかし、実際にはそうではなかった。また発話をあまり積極的にしない学生には、教科書の単語や文章の読みをさせるだけで、発話をする学生に偏りが出ている。一人ひとりに話してもらうように、質問を個人に向けてやっているつもりが、結局全員が答えたり、積極的に話す人が言ったりすることが多いという結果が出ていた。また消極的な学生が意見を言うまで待たずに、他の学生が答えた(横槍をいれた学生の)意見を取り上げたり、教師が答えたりしていた。

その他、学生が言った言葉を確認のためか、繰り返して言っている。学習者の理解を深めるため、また間違った表現に気付かせるための間接的なやり方であったが、不自然でしつこい感じに思われる。最初は学習者のフィードバックのためにやっていたと思うが、習慣化していくうちに間違いだけでなく正確に言ったときにも繰り返し法を使い、今では、筆者の癖になっている可能性がある。

また、意外に早口で、丁寧体だけではなく普通体で話していることもあった。普通体で話していると親しみやすさがみえるが、授業中は丁寧体のほうがメリハリを付ける上で聞こえが良く感じられる。それから学習者の発話が中級であるにもかかわらず、単語

レベルで終わっている点である。学習者が最後まで言わなくても言いたいことがわかるため言わせなかったのか、学習者の発話能力が低いのかかわからないが、最後まできちんと丁寧に言わせたほうがいいのではないかと考えられる。

そして、学習者への指名の仕方（ランダム、右から順序よく、左から順序よく等、バリエーションをもたせる）も、授業を録画してどの学習者に何度ぐらい当てたのかを調べて教師の指名の癖（傾向）を知るべきである。「質問してから学習者の名前を言う」ほうが、質問を全員がしっかり聞いていると言われるが、今回のクラスでは、質問したとたん積極的な学生が答えているパターンが多く偏りがでていた。指名の仕方に関しては今後検討していく必要があると思われる。

(2) モスコフヴィッツのFLint システム分析

ここでは、マトリクスの表で発話の回数、どのような質問をしているか、そしてその回数などが一目で分かった。文字化をしたときと同様、教師の発話回数が多かったことが明らかに表れていた。教師の発言のパターンで最も多かったのが「発問」、次に「文型の機械的練習の指示」（指示・方向付け）、「学習者への賞賛・激励」と続いていた。教授活動の中では、教師が質問をすることが多いということがうかがえる。また、学習者の発言のパターンとしては、中級クラスのせいか「開かれた質問に対する答え、あるいは学習者主導の発言」が多かった。教師と学習者間には、常に発問（教師）⇒答え（学習者）のパターンが見られることがわかった。ここでも気になった結果が「学習者の発話の繰り返し」の多さであった。

(3) FOCUS の分析

最後に、FOCUS の3つの観点で分析した結果を見てみたいと思う。Source/Target の観点から： $t \Rightarrow s$ 、 $t \Rightarrow c$ 、 $s \Rightarrow t$ のパターンが多いことがわかった。学習者が教師からの質問に答えるというパターンが多く、学習者からの質問や積極的な働きかけがあまりみられない。また、クラス全体に投げかけた質問でも一部の学生が答えるという偏りがあった。筆者の授業は、文野（1991）が述べている「教師が一方向的に働きかけそれに学習者が反応するというパターンといえる。教師（T）がコミュニケーションの主導権を握り、教師が学習者（S）に期待する反応を要請することにより教室活動が進められたと解釈できよう。この $T \Rightarrow S$ のパターンは、教師主導型の教室活動と見ることができる（p. 55）」ということと当てはまる。

Move の観点からは、 $sol \Rightarrow res \Rightarrow rea$ の連鎖が連続して現れている。 $t/c(rea)$ がすべて「まとめ、全体共有」の機能を果たしていない可能性もあるので、一度 $t/c(rea)$ まとめ発話のあとで何が起こるかを調べてみる必要があるだろう。これは Sinclair & Coulthard (1975) や Mehan (1979) によって明らかにされた「教室談話の典型的な『教えー学び』連鎖」である。また、文野（1991）が「従来の授業において学習者の学習活動に単純な繰り返しや受身の姿勢で聞くだけの作業が多かったとしたら、判断を必要とする作業や characterize（分類）や relate（関連づけ）などの作業を増やして、学習者に

考えるチャンスを与えるべきである(p.61)」と述べているように、学習者の活動にも気を配っていかなければならない。一人ひとりの学習者が発問に対する答えを自分なりに考え、その後、他の学習者や教師から意見をもらうというように、できるだけ考えるチャンスを与えることを心がけるようにすることが大切なのもかもしれない。reaのパターンが、「繰り返し」「そうですね」「いいですね」に限らず、もう少しバラエティに富んだ「学習者への賞賛・激励」「コメント」など、工夫をすべきだろう。

Mediumの観点からは、圧倒的にla(音声言語)が多いということである。時々lv(視覚言語)、pv(ジェスチャー)、pa(笑い)、なども見られた。初級学習者向けの授業では、日本語が通じないので様々な教材(絵教材・写真パネル・文字カード・フラッシュカード・図表・レアリア・ビデオ・テープ等)を用い工夫をしていた。しかし、中級学習者になるとどちらかというとプリント(印刷物)や教科書を使用し音声言語に頼る傾向がみられた。また、毎日の授業に教材の作成のための時間を費やさなくなってきたのも事実である。学習者が日本語を学ぶ上で、どういう課題を出せば意欲的に取り組み、考えるのか、もう少し学習者の視点になって考えるべきであろう。

2. アンケート調査

授業改善のために授業分析を行なったが、その結果の中で筆者が疑問に思ったこと①自分の授業について自己点検を行うとしたら、どのような方法をとるのか、②学生の説明のフィードバックはいつ行うか、③教師が学習者の言った言葉を繰り返すことについてどう思うか、④より良い授業を行う際に大切なことは何か等を取り上げ、日本語教育副専攻課程の学生にアンケート調査(資料5)を試してみた。より良い授業を行なうためのアクション・リサーチとしての参考にしたいと思う。

2. 1 概要(調査方法、期間、対象者など)

期間：平成19年12月17日～20日

対象：沖縄国際大学 日本語教育副専攻課程 男子13人 女子42人

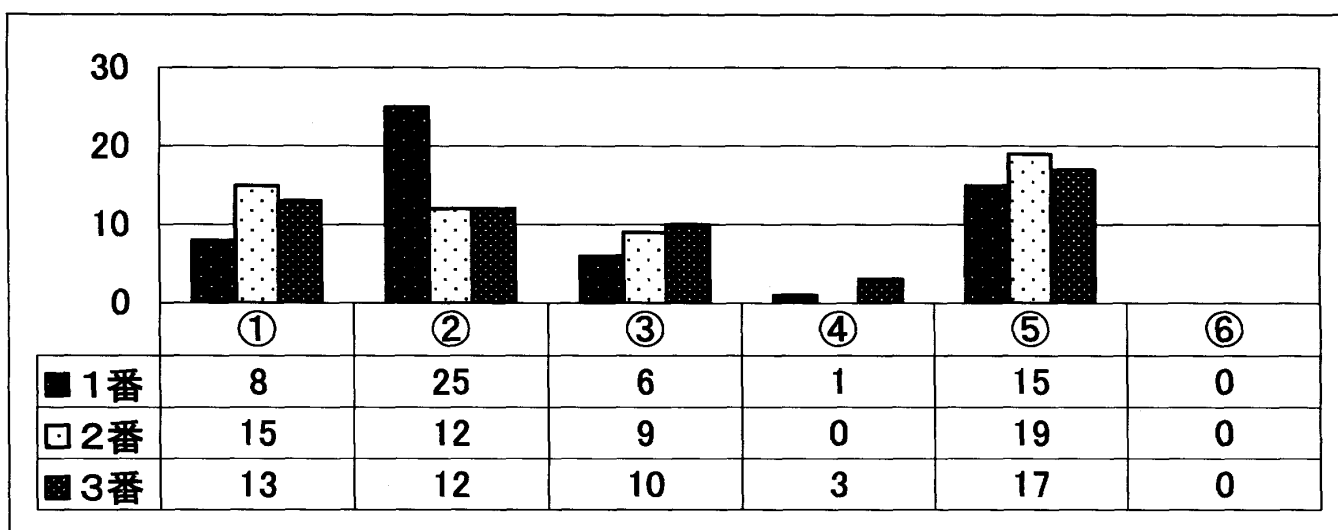
調査方法：アンケート調査⇒自由回答法(回答者が自由に回答を考える方法)とプリコード回答法(アンケート作成者が予想される回答を考え、それを回答の選択肢として用意して回答者に選んでもらう方法)

2. 2 アンケート結果と分析

(1) 自己点検を行なう際に、利用したい方法

自己点検をする際に1番利用したい方法は、「②他の教師に授業観察とコメントをしてもらう」であった。全体的には、「⑤学習者からの評価を得る」という答えが多かった。また「①自分自身の授業をビデオ・音声テープに記録して授業観察を行う」と答えた学生もいた。

グラフ1：自己点検方法の順位

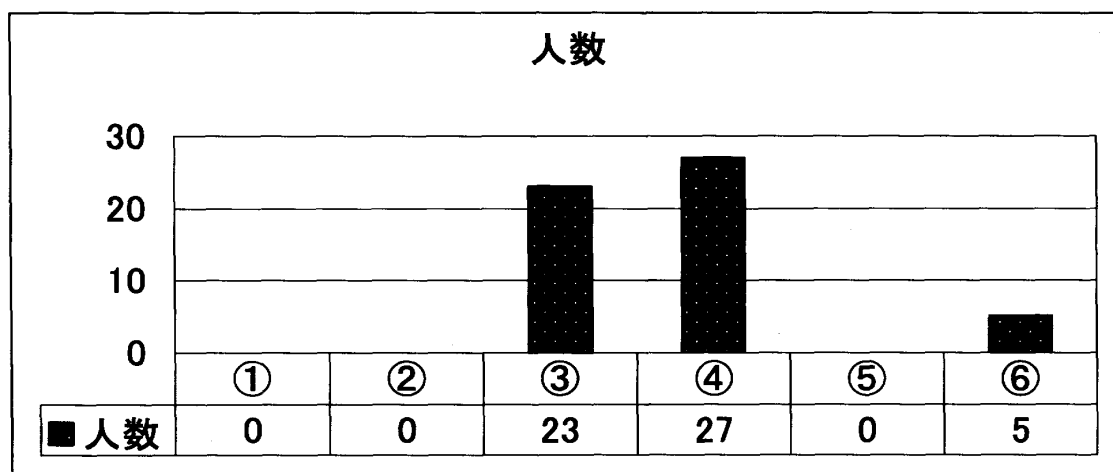


(2) 訂正

2番目の質問は、学習者に間違いがあった場合、どのタイミングで訂正するかというものである。アンケートの結果で、一番多かったのは、「④教科書を最後まで読ませてから間違っ発音した部分を取り上げて指導する」であった。その次に、「③間違っ発音をした直後に正確な発音を言う」という答えが多かった。「①間違いを訂正しない」と答えた学生は一人もなかった。

また、なぜその答えを選んだかという記述式の質問をした。全部言わせてから訂正をしたほうがいいと答えた理由は、「途中で訂正すると進行のさまたげになる」、「学習者の心理的な面を考えて途中だといいい気持ちがしない」、「全部を言わせてから間違っ部分を取り上げて、他の学習者にも理解させる」ということであった。次に、間違いの直後にしたほうがいいと答えた中で一番多かった理由は、「すぐに正確な発音に直す方が記憶に残りやすい」、「全部言わせてからだ、何を指摘されているのか学習者もわかりにくくなるし、指摘するほうも忘れてしまうことがある」であった。

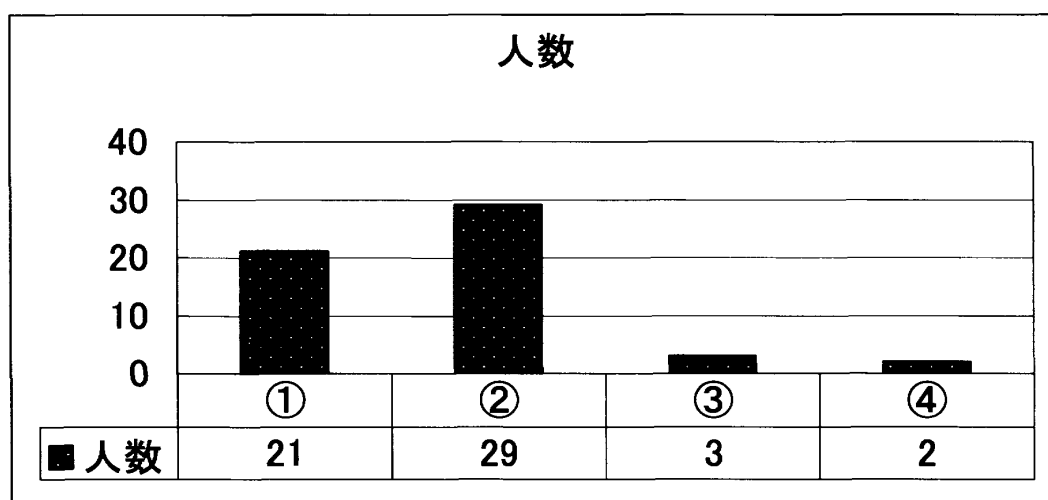
グラフ2：訂正のタイミング



(3) 発話の繰り返し

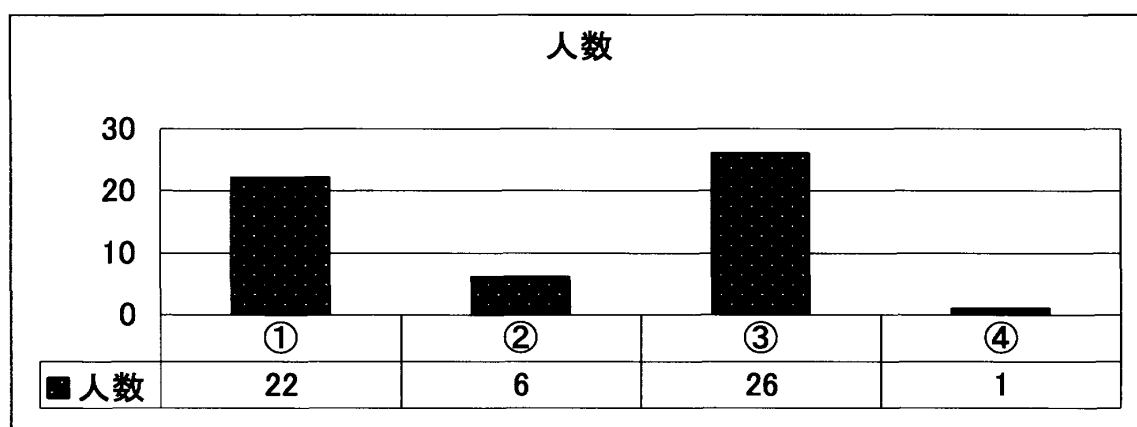
3番目は、筆者が授業分析をした際に、気になった「学習者の発話を繰り返す」という行為に対してどう思うかという質問である。「②日本語教師にはよくある発話パターンだと思う」と「①不自然である」という結果が多かった。

グラフ3：教師が学習者の発話を繰り返すことについて



そして、なぜ繰り返しているのかという質問に対しては、「③学習者の発話が正しい、正しくないということを間接的に伝えるため」、「①学習者が言ったことを確認するため」を選んだ学生が多かった。

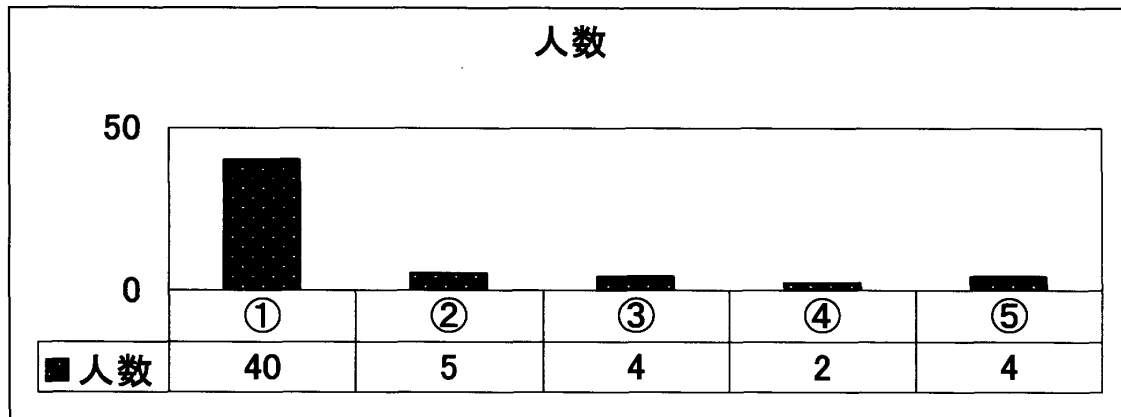
グラフ4：繰り返す理由



(4) 話し方

話し方については、「①教師も学習者も丁寧体（です・ます体）の方がいい」という意見が圧倒的に多かった。

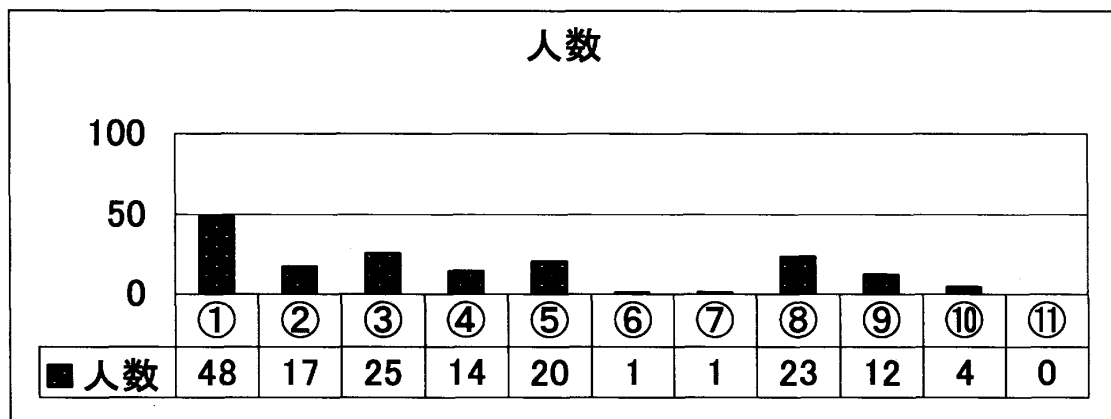
グラフ5：話し方（普通体か丁寧体か）



(5) よりよい授業を行なうためには

「よりよい授業を行なう際に大切なことは」という質問に当てはまるものを3つ選んでもらった。結果は、以下の通りである。最も多かった答えは、「①学習者の希望やニーズを調査する」、「③他の教師の授業を観察する」、「⑧日本についての知識を深める」、「⑤教材を検討する」であった。少なかったものは、「⑥文献を読む」、「⑦外国語を学習する」、「⑩自己点検評価」であった。

グラフ6：よりよい授業を行なう上で大切なこと



2. 3 考察

以上のアンケート調査の結果を踏まえ考察していく。

(1) 自己点検

自分の授業について点検をする際に利用したい方法は、「他の教師にコメントをしてもらう」と「学習者からの評価」であった。授業後にアンケート調査やインタビューなどによって他のものから評価を得る方法もある。しかし、文野（1993）は、「学習者に依存す

る作業はいつでも手軽にできるとは限らない。学習者によって認識の方法や程度にバラつきができると、一定の基準でデータが集めにくい(p. 87)」と述べている。つまり今後は、他のものに頼った授業改善ではなく、自分自身でチェックする観点から意識していかなければならない。日本語教育専攻課程でも自らが実践した授業を振り返る方法を指導していくことが望まれる。

(2) 訂正のタイミング

日本語教育副専攻課程の学生のアンケートの結果によると、「最後まで言わせてから間違いを訂正する」という答えが多かった。しかし、筆者の場合は学習者が間違えた直後に訂正をしていた。今後は、訂正のタイミングや肯定的なフィードバックの仕方などを学習者に応じて臨機応変に行いたいと思う。

(3) 学習者の発話の繰り返し

無意識に「学習者の発話を繰り返す」癖である。会話としては不自然で、日本語教師によくあるパターンではないかという結果がアンケート調査で出た。なぜ繰り返しているのかティーチャーズ・トークとの関連も考え、観察を続けて行きたいと思う。

(4) 丁寧体と普通体

筆者も日本語教育副専攻課程の学生も、丁寧体で授業を進めるのが理想だと思っているが、授業分析を行なった結果、実際にはそうではなかった。この点は、文字化をしての振り返りとして理想に近づけるよう意識して行くつもりである。

(5) よりよい授業のために

「よりよい授業を行なう際に大切なことは」という質問で最も多かった答えは、「学習者の希望やニーズを調査する」、「他の教師の授業を観察する」、「日本についての知識を深める」であった。「自己点検評価」を選んだ学生は大変少なかった。実際に授業を担当しているのは教師自身なので、よりよい授業を行なうためにはセルフチェックは必要となってくる。この方法は、これから日本語教師を目指すものにも反映させていきたいと思う。

おわりに ～授業改善のためのアクション・リサーチの意義～

モスコヴィッツは「外国語相互作用分析システム」(Foreign Language Interaction System, FLint System) の中でよい外国語授業の特性について次の10点を挙げている。第一に教師も学習者も外国語使用が圧倒的に多い。第二に、初級段階でも母語使用は非常に少ない。第三に、教師の話す量が少ない。第四に、学習者の参加を促し、誉めたり励ましたりすることが多い。第五に、教室内の雰囲気は暖かく、受容的である。第六に教師が微笑したり、冗談を言うことが多い。第七に、教室内に笑いが多く。第八に、学習者は授業参加への意欲を示し、自発的な発言が多い。第九に、学習者の行動が批判されることは滅多にない。第十に、誤りの訂正をやさしく行なう (Moskowitz 1976)。それらを基準に「授業分析」をし、考えさせられたことは、「教師の発話の多さ」、「指名の

仕方」、「質問の内容（発問のしかた）」、「クラスルーム運営」、「reaction（ほめ方など）」、「教室活動の工夫（音声言語以外の手段について）」、「学習者の言葉を繰り返すこと」、「消極的な学習者の発話」、「私語への注意の仕方」、「誤用訂正の仕方」等である。横溝（2000）は、「アクション・リサーチは教師が自分自身の教授の向上、すなわち自己成長を目指して行なうリサーチでなければならない。また、実施の決定も本人が自分自身の現状を変えることを望んで始めるというボトムアップ形式でなければならない(p. 17)」と述べている。筆者は今まで科学的に自己点検をしなかったが、いろいろな方法で授業分析をすることによって、アクション・リサーチになったと思う。文野（1993）は「教授活動の改善は教室で行なわれる一つ一つの授業を見つめ直すことから始まるという考えが一般的になり、日本語教育の分野で教授活動改善に向けた授業観察が行なわれている(p. 86)」と述べているが、今後は、必ず授業を観察し振り返り気付くということを中心に心がけていきたいと思う。授業改善のためには、アクション・リサーチは必要であることを強く感じた。

また、自分だけで考えるだけでなく他の人と意見をシェアすることの大切さも学んだ。今回のオンラインコースでは、メール上でコーディネーターの方々、海外や他府県の方々との意見を交換することができたということも一つの収穫であったと思う。ひとりで悩んでいたと思っていたことが他の人も同じだという安心感、「自分ひとりではないんだ」という不安感からの脱出、そしてたくさんの教師が自己成長を目指しているという励み等が得られた。なお本稿は、日本語教育学会の日本語教師研修の一環である「オンラインコース：授業分析」をもとに書いたものである。

引用・参考文献

1. 足立尚子・鎌田実樹・茂住和世 (2002) 「音読に対する教師の意識—マイナス面を中心に—」『平成14年度日本語教育学会春季大会予稿集』193 - 198
2. 岡崎敏雄・岡崎眸 (1997) 『日本語教育の実習—理論と実践—』アルク
3. 小山真理 (2006) 「授業観察と教師の内省」『文化女子大学紀要：人文・社会科学研究』14, 129 - 121.
4. 川崎直子(2003) 「否定的フィードバックにおける uptake」『平成15年度日本語教育学会春季大会予稿集』177 - 182
5. 鈴木一行 (2005) 『新版日本語教育事典』大修館書店

6. 中川良雄 (2004) 『秘伝 日本語教育実習 プロの技』凡人社
7. 縫部義憲 (1991) 「日本語授業の『人間化』の工夫—外国語相互作用分析システムの利用—」『日本語教育』75号, 12 - 23
8. 縫部義憲 (1994) 『日本語授業学入門』瀝々社
9. 文野峯子 (1991) 「授業分析と教育の改善—客観的な授業分析の試み—」『日本語教育』75号, 51 - 63.
10. 文野峯子 (1993) 「学習に視点を置いた授業観察」『日本語教育』82号, 86 - 98
11. 文野峯子 (2004) 「授業参加過程の質的研究—サイド発話への注目—」『日本語教育』121号, 103 - 108
12. 文野峯子・金田智子 (2006) 「自分の授業尾を見直しませんか」『いろは』23号, 3, 財団法人交流協会日本語センター (台北).
13. 三谷閑子 (発表年不明) 「教室内のインターアクションの客観的分析の試み」『名古屋大学2002年度日本語教育実習報告書』
14. 横溝紳一郎 (2000) 『日本語教師のためのアクション・リサーチ』凡人社
15. Fanselow, J., (1987) *Breaking Rules*, Longman
14. Moskowitz, G. (1976) “The Classroom Interaction of Outstanding Foreign Language Teachers”, *FLA*, 19, 2, 135-157

資料

(「文字化」資料1)

#	話者	質問・行動	DQ/RQ
1	T	はい、では、だいたい書けたようなので、えーと、じゃー、黒板を皆さん、ざっーと見て何が書いてあるか、まず見てください。(黒板を指して) で、似ているところ、例えば、長女で似ているところ、長男で似ているところ、次女で似ているところ、ちょっとさがしてみても! (黒板を見ながら) 例えば長女たくさんありますね。結構、長女が多いね。長女で書いているところ・・・似ているところ何ですか?長女は?何て書いてある?	DQ (黒板を見れば答えられると思うので)
2	L1	小さいことを気にしない。	
3	T	長女の場合には、小さいことを気にしないと書いてあるのが多いですね。他に長女は?どうですか?	DQ
4	L2	のんびり。	
5	T	のんびりね。そうですね。ここにのんびりしているとありますね。長男ものんびりしているが多いですね。長男の特徴は?	DQ
6	L3	あまり緊張しない。	
7	T	緊張しない・・・。長男と長女、似ていますか?	DQ
8	SS	似ている。	
9	T	似ているところがあるかもしれませんね。次女とか次男はどうですか?	DQ
10	L1	次女は何でも自分の思ったとおりにしようとする。気が短い。(全員の笑い)	
11	T	そう書いてありますね。一人っ子・・・皆さんは、中国は一人っ子が多いですが、一人っ子の人・・・いますか? 一人っ子?・・・L4さんだけ?少ないね!	RQ (一人っ子が何人いるか分からない)
12	L4	わがまま。別の兄弟いっぱいいる場合は、なんか、皆で分ける。一人っ子だったら、何でも自分一人で。食べ物、全部自分だけ。	
13	T	そういうことは、いいですか?	RQ
14	L4	寂しいです。	
15	T	そうですね。はい、では、言葉のところをL5さんお願いします。「神経質」というところから。	
16	L5	神経質、緊張しやすい、傾向、東海大学医学部、保育園、園児、認める、一人っ子、のんびり屋、注目が集まる、心理的、不安定。	
17	T	「神経質」という言葉はどういう感じ?自分は・・・神経質だなあって思う人いますか?	RQ
18	SS	神経質じゃない。	
19	T	みんな、神経質じゃない。いいですね!(笑い)	
20	L1	少しある。	
21	T	どんなの?神経質って?L1さん	RQ
22	L1	例えば、出かけた後で、ドアを閉めたかなあって気にする。 心配。	
23	T	そうですね。それから、他の単語で・・・ここの	DQ

		場合「が」だったら「注目が集まる」、「注目を」 だったら？	(既習文 法)
24	C	集める	
25	T	あとの単語はいいですね。では、L6さん、「まね をする」からお願いします。	
26	L6	まねをする、甘える、いわゆる、赤ちゃん返り現 象(けんしょう?はつきりは聞き取れなかったが、 発音を間違えた)	
27	T	げんしょう	
28	L6	しっかりする、我慢する、ストレス、性格、影響 を与える。	
29	T	「まねをする」・・・L6さん、どういうこと?ま ね・・・聞いたことある?	RQ
30	L6	いいえ。	
31	T	「まねをする」・・・意味が分かる人いますか?	RQ
32	SS	コピーする。	
33	T	できますか?L7さん、誰かのまねできますか?	RQ
34	L7	動物のまねもできます。(全員の笑い)	
35	L8	男の声ができる。(他にも色々言っているようだ が、聞き取れない)	
36	T	動物のまね、人のことをまねする・・・もできま す。色々ね。まねをする。えー?L4さん、なん かまねができるの?	RQ
37	SS	やって・・・やって・・・(笑い)	
38	L4	(ジェスチャーを交えてL8さんのまねをする) 同じさ〜!(拍手、大笑い)	
39	T	L8さん、そう?同じさ〜!こうやるの?(L4 がやったようにジェスチャーをやってみせる)(全 員の笑い)	
40	L8	ちがうー。えー?わからなーい。	
41	T	じゃー、皆さん、L8さんが「同じさ〜!」って やる時、見ておいて下さいね。(全員笑う)自分じ ゃ気がききませんからね。何をするかね。	
42	L8	その時、なんか・・・出てきたかなあ?分らない い。	
43	T	そうですね。では、見ておきます。はい、「甘え る」・・・ えーと、あー、えー、L9さんは、甘えるの好き でしょう?	DQ (L9の行動 から)
44	L9	好き。	
45	T	好き。うん!甘えたい?	DQ
46	L9	甘えたい。	
47	T	甘えたい、誰に?誰に甘えたいの?	RQ
48	L2	今、そばに座っている人(きれいな日本人学生が 側に座っている。L9は、授業中にそのきれいな 日本人学生とおしゃべりをしている)	
49	T	そばに座っている人に甘えたい。いいですね。(笑 い) 甘える。大丈夫?はい。「いわゆる」っていうのは、 後で出てきますから、そこで説明します。「赤ちゃ ん返り現象」っていうの、聞いたことある?「赤 ちゃん返り現象」・・・ 聞いたことないですか?どういうことか・・・。	RQ
50	C	分からない。(全員、首をふるか、分からない様子)	

		を見せる)	
51	T	じゃー、日本人の方、えーと・・・(日本人の学生)さん じゃー、「赤ちゃん返り現象」ってどういうこと?	DQ
52	JS	もう、赤ちゃんじゃない人が、あの一、妹とか弟に嫉妬して、赤ちゃんみたいなことをやって、お母さんの気をひこうとすること。	
53	T	今ので、意味、分かりましたか?	
54	L7	分からない。(笑い)	
55	T	分からないって、どうする?もう1回分かりやすく説明して下さい。	
56	JS	赤ちゃんのまねをして甘えたがること。注目を集めること。	
57	T	あの一、例えば、上の子は、3歳とか4歳になっています。赤ちゃんが生まれたとします。生まれます。その時、お母さんは、どっちを・・・上の子?生まれたばかりの赤ちゃん?どっちを面倒見ると思いますか?	DQ
58	C	赤ちゃん	
59	T	赤ちゃんのほうですよ。まだ小さい生まれたばかりの方ですね。そしたら、今までお母さんは、上の子の面倒を見ていたんですよ。ところが、下が生まれたでしょう?そしたらその赤ちゃんばかりみて、上の子はどうですか?	RQ
60	SS	焼きもちやく。寂しい。	
61	T	そしたら、どういう行動に出ると思いますか?	DQ
62	SS	赤ちゃんに返る。	
63	T	赤ちゃんになって、お母さんに自分も面倒を見て甘えるんですね。赤ちゃんに返る現象。今やったらダメですよ! (笑い)	

(「モスコヴィッツのFLintシステム分析」資料2)

#	話者	質問・行動	コーディング
1	T	はい、では、だいたい書けたようなので、えーと、じゃー、黒板を皆さん、ざっと見て何が書いてあるか、まず見てください。	6
		(黒板を指して) で、似ているところ、例えば、長女で似ているところ、長男で似ているところ、次女で似ているところ、	5
		ちょっとさがしてみても!	6
		(黒板を見ながら) 例えば長女たくさんありますね。結構、長女が多いね。	5
		長女で書いているところ・・・似ているところ何ですか?長女は?何て書いてある?	4
2	L1	小さいことを気にしない。	9
3	T	長女の場合には、小さいことを気にしないと書いてあるのが多いですね。	3a
		他に長女は?どうですか?	4

4	L 2	のんびり。	9
5	T	のんびりね。	3a
		そうですね。ここに、のんびりしているとありますね。 長男ものんびりしているが多いですね。	2
		長男の特徴は？	4
6	L 3	あまり緊張しない。	9
7	T	緊張しない・・・。	3a
		長男と長女、似ていますか？	4
8	SS	似ている。	9
9	T	似ているところがあるかもしれませんね。	2
		次女とか次男はどうですか？	4
10	L 1	次女は何でも自分の思ったとおりにしようとする。気が短い。	9
		(全員の笑い)	1 2
11	T	そう書いてありますね。	2
		一人っ子・・・皆さんは、中国は一人っ子が多いですが、	5
		一人っ子の人・・・いますか？	4
		一人っ子？・・・L 4さんだけ？少ないね！	
12	L 4	わがまま。別の兄弟いっぱいいる場合は、なんか、皆で分ける。一人っ子だったら、何でも自分一人で。食べ物、全部自分だけ。	9
13	T	そういうことは、いいですか？	4
14	L 4	寂しいです。	9
15	T	そうですか。	1
		はい、では、言葉のところをL 5さんお願いします。「神経質」というところから。	6
16	L 5	神経質、緊張しやすい、傾向、東海大学医学部、保育園、園児、認める、一人っ子、のんびり屋、注目が集まる、心理的、不安定。	8
17	T	「神経質」という言葉はどういう感じ？ 自分は・・・神経質だなあって思う人いますか？	4
18	SS	神経質じゃない。	9
19	T	みんな、神経質じゃない。	3a
		いいですね！	1
		(笑い)	1 2
20	L 1	少しある。	9
21	T	どんなの？神経質って？L 1さん	4
22	L 1	例えば、出かけた後で、ドアを閉めたかなあって気にする。 心配。	9
23	T	そうですね。	1
		それから、他の単語で・・・この場合「が」だったら「注目が集まる」、	5
		「注目を」だったら？	4
24	C	集める	8a
25	T	あとの単語はいいですね。	2
		では、L 6さん、「まねをする」からお願いします。	6
26	L 6	まねをする、甘える、いわゆる、赤ちゃん返り現象(け	8

		んしょう？はっきりは聞き取れなかったが、発音を間違えた)	
27	T	げんしょう	5a
28	L6	しっかりする、我慢する、ストレス、性格、影響を与える。	8
29	T	「まねをする」・・・L6さん、どういうこと？ まね・・・聞いたことある？	4
30	L6	いいえ。	9
31	T	「まねをする」・・・意味が分かる人いますか？	4
32	SS	コピーする。	9
33	T	できますか？L7さん、誰かのまねできますか？	4
34	L7	動物のまねもできます。	9
		(全員の笑い)	12
35	L8	男の声ができる。	9
		(他にも色々言っているようだが、聞き取れない)	11
36	T	動物のまね、人のことをまねする・・・もできます。 色々ね、まねをする。	3
		えー？L4さん、なんかまねができるの？	4
37	SS	やって・・・やって・・・。	8a
		(笑い)	12
38	L4	(ジェスチャーを交えてL8さんのまねをする)	n
		同じさ～！	9
		(拍手、大笑い)	12
39	T	L8さん、そう？	2
		同じさ～！こうやるの？	3
		(L4がやったようにジェスチャーをやってみせる)	n
		(全員の笑い)	12
40	L8	ちがうー。えー？わからなーい。	9
41	T	じゃー、皆さん、L8さんが「同じさ～！」ってやる時、見ておいて下さいね。	1
		(全員笑う)	12
		自分じゃ気付きませんからね。何をするかね。	1
42	L8	その時、なんか・・・出てきたかなあ？分からない。	9
43	T	そうですね。では、見ておきます。	1
		はい、「甘える」・・・	6
		えーと、あー、えー、L9さんは、甘えるの好きでしょう？	4
44	L9	好き。	9
45	T	好き。	3a
		うん！甘えたい？	4
46	L9	甘えたい。	9
47	T	甘えたい。	3a
		誰に？誰に甘えたいの？	4
48	L2	今、そばに座っている人(きれいな日本人学生が側に座っている。L9は、授業中にそのきれいな日本人学生とおしゃべりをしている)	9
49	T	そばに座っている人に甘えたい。	3a

		いいですね。	1
		(笑い)	1 2
		甘える。大丈夫?はい。「いわゆる」っていうのは、後で出てきますから、そこで説明します。	5
		「赤ちゃん返り現象」っていうの、聞いたことある? 「赤ちゃん返り現象」・・・聞いたことないですか? どういうことか・・・。	4
50	C	分からない。(全員、首をふるか、分からない様子を見せる)	8a
51	T	じゃー、日本人の方、えーと・・・(日本人の学生)さん、じゃー、「赤ちゃん返り現象」ってどういうこと?	4
52	JS	もう、赤ちゃんじゃない人が、あの一、妹とか弟に嫉妬して、赤ちゃんみたいなことをやって、お母さんの気をひこうとすること。	9
53	T	今ので、意味、分かりましたか?	4
54	L 7	分からない。	9
		(笑い)	1 2
55	T	分からないって、	3a
		どうする?	4
		もう1回分かりやすく説明して下さい。	6
56	JS	赤ちゃんのまねをして甘えたがること。注目を集めること。	9
57	T	あの一、例えば、上の子は、3歳とか4歳になっています。赤ちゃんが生まれたとします。生まれます。その時、お母さんは、どっちを・・・上の子? 生まれたばかりの赤ちゃん? どっちを面倒見ると思いますか?	5 4
58	C	赤ちゃん	8a
59	T	赤ちゃんのほうですよ。まだ小さい生まれたばかりの方ですね。	3a
		そしたら、今までお母さんは、上の子の面倒を見ていたんですよ。ところが、下が生まれたでしょう?	5
		そしたらその赤ちゃんばかりみて、上の子はどうですか?	4
60	SS	焼きもちやく。寂しい。	9
61	T	そしたら、どういう行動に出ると思いますか?	4
62	SS	赤ちゃんに返る。	9
63	T	赤ちゃんになって、お母さんに自分も面倒を見てと甘えるんですね。	3
		赤ちゃんに返る現象。今やったらダメですよ!	2a
		(笑い)	1 2
64	T	3歳、4歳、小さい子がやることですね。	5
		でもまあ恋人同士の時に、もしかして皆さんね、内緒だけでやっている時もあると思いますが、それは赤ちゃん返り現象とはいいいません。	2a
		(笑い)	1 2
65	SS	そんな〜!	1 1
		(笑い)	1 2

66	T	しっかりする、しっかりしています、これもいいですね。がまん、ストレス、そのあたりは皆さん、まあ大丈夫でしょう。	2
		それでは、はい、次、16ページの「聞きましょう」を見てください。話を聴いてください。そして a~d の内容に、合っているものには○、違っているものには×。CDを聴いてください。	6
		(CDの頭出しに時間が少しかかる)	10
		ごめんなさい。13番か。(独り言でトラックナンバーを言う)	n?
		(内容が流れる) はい。聴いてください。	6
		(みんな静かに聴いている。1分程度)	10a
67	T	(CDを止める) はい、ちょっと止めます。あの~これは、アンケート、あ、調査をしたんですね。	5
		えーと、誰に聞きましたか。誰に聞いたの?このアンケートは、	4
68	C	お母さん	8a
69	T	そうですね。	2
		母親に聞いたんですね。それで、えーっと、ここは、えー、どこの大学の医学部ですか?	4
70	C	東海大学の医学部	8a
71	T	東海大学の医学部の調査でわかったということですね。	3a
		何人ぐらいのお母さんにアンケートを取りましたか?	4
72	C	1,000人。	8a
73	T	1,000人だったね。1,000人。	3a
		それで、結果、一番上の子供は下より何と言っていますか?	4
74	C	神経質	8a
75	T	神経質で、	3a
76	C	緊張しやすい	8a
77	T	緊張しやすいと言っていますね。	3a
		2番目、3番目、下に行けば行くほど、どうなるの?	4
78	C	のんびりしている。	8a
79	T	のんびりしている。	3a
		ここまでの全部の内容ですね。続き行きます。聴いてください。	6
		(CDを流す。1分程度)	10a
80	T	はい、えーと、例えば、あの一、弟や妹が生まれた時に、えー上の子供はお母さんに対してどんな気持ちになるの?	4
81	LI	お母さんが取られちゃった感じ。	9
82	T	取られた感じね。	3a
		お母さんが下の赤ちゃんにとられた感じがする。うん。	3
		ですから、何ですか。えーと、気持ちが・・・	4
83	C	不安定。	8a
84	T	気持ちが不安定になると言っていますね。	3
		で、えーと、例えば、あの一、お母さんはお兄さんに向かって何と言いますか。何と言うの?お兄ちゃんだ	4

		から・・・？	
85	L2	しっかりしてください。	8
86	T	しっかりしなさい。	3a
		お姉ちゃんだから・・・？	4
87	C	我慢しなさい。	8a
88	T	我慢しなさいとか。	3a
		そういう風に言うと、逆に上の子供はどうなるの？	4
89	L3	ストレス。	8
90	T	ストレスがたまるとですね。	3a
		そういう風なことが多いということですね。	5
		はい、えーと、今、ここまで聴いているけど・・・、1回、じゃあ、問題、聴いて、もし分からなかったらもう1回聴きますので。じゃあ、問題聴いてください。 a, b, c, d, Oか×で答えてください。	6
		(CDを流す。30秒程度)	10a
91	T	(CDを止める) そんなに難しくないかな？ (独り言のような) 大丈夫ね。いいですね。難しいですか？1回だけで分かる？1回だけで分かった？やってみる？いいですか？	11
		aの「兄弟の一番上の子供よりも、一人っ子のほうが神経質で緊張しやすい。」これは、皆さんは？答えは何？	4
92	C	ばつ。	8a
93	T	全員 ×？	3a
		どうして？えーと、待ってよ。どこまで行ったかな？(当てる順番を忘れてしまう) あー、タイカンさん？何になった？	4
94	L4	ばつ、まる、ばつ、ばつ	8
95	T	もう全部？	5a
		(笑い)	12
		じゃあ、なぜ最初の答えはバツなの？	4
96	L4	問題は何？	9
		(笑い)	12

(「マトリクス数値集計表」資料3)

	1	2	2a	3	3a	4	5	5a	6	6a	7	7a	8	8a	9	10	10a	11	11a	12	e	n	計
1							1		2						1					1			5
2				1		3	1		2														7
2a																				2			2
3			1			3																1	5
3a	2	1		1		11	2		1					1									19
4									1				3	12	21								37
5						7			2														10
5a													1							1			2
6						1	2						2		1	1	3						10
6a																							0
7																							0
7a																							0
8						2	2		2														6
8a		2		1	8	1														1			13
9	4	1		1	8	6	1									1				5			27
10																						1	1
10a						1	1											1					3
11				1		1														1			3
11a																							0
12	3	3			1	1	2								3			1				1	15
E																							0
n									1						1								3
計	9	7	2	5	19	37	10	2	9	0	0	0	6	13	27	1	3	3	0	12	0	3	168

(「FOCUS の分析」資料4)

#	話者	質問・行動	S/T	Move	Medium
1	T	はい、では、だいたい書けたようなので、えーと、じゃー、黒板を皆さん、ざっーと見て何が書いてあるか、まず見てください。	T/C	str	la+lv
		(黒板を指して) で、似ているところ、例えば、長女で似ているところ、長男で似ているところ、次女で似ているところ、		sol	pv+la
		ちょっとさがしてみて!			la
		(黒板を見ながら) 例えば長女たくさんありますね。結構、長女が多いね。			p v+lv+la
		長女で書いているところ・・・似ているところ何ですか? 長女は?何て書いてある?			la+lv
2	L 1	小さいことを気にしない。	S/T	res	la
3	T	長女の場合には、小さいことを気にしないと書いてあるのが多いですね。	T/C	rea	la+lv
		他に長女は?どうですか?		sol	la
4	L 2	のんびり。	S/T	res	la
5	T	のんびりね。	T/S		la
		そうですね。ここに、のんびりしているとありますね。長男ものんびりしているが多いですね。	T/C	rea	la+lv
		長男の特徴は?		sol	la
6	L 3	あまり緊張しない。	S/T	res	la
7	T	緊張しない・・・。	T/S	rea	la
		長男と長女、似ていますか?	T/C	sol	la
8	SS	似ている。	SS/T	res	la
9	T	似ているところがあるかもしれませんね。	T/C	rea	la
		次女とか次男はどうですか?		sol	la
10	L 1	次女は何でも自分の思ったとおりにしようとする。気が短い。	S/T	res	la
		(全員の笑い)			pa
11	T	そう書いてありますね。	T/C	rea	la+lv
		一人っ子・・・皆さんは、中国は一人っ子が多いですが、		sol	la
		一人っ子の人・・・いますか?		la	
		一人っ子?・・・L 4さんだけ?少ないね!	T/S	rea	la
12	L 4	わがまま。別の兄弟いっぱいいる場合は、なんか、皆で分ける。一人っ子だったら、何でも自分一人で。食べ物、全部自分だけ。	S/T	res	la
13	T	そういうことは、いいですか?	T/S	sol	la

14	L 4	寂しいです。	S/T	res	la
15	T	そうですか。	T/S	rea	la
		はい、では、言葉のところをL 5さんお願いします。「神経質」というところから。	T/S	sol	la+lv
16	L 5	神経質、緊張しやすい、傾向、東海大学医学部、保育園、園児、認める、一人っ子、のんびり屋、注目が集まる、心理的、不安定。	S/T	res	la+lv
17	T	「神経質」という言葉はどういう感じ？ 自分は・・・神経質だなあって思う人いますか？	T/C	sol	la
18	SS	神経質じゃない。	SS/T	res	la
19	T	みんな、神経質じゃない。	T/C	rea	la
		いいですね！			la
		(笑い)			pa
20	L 1	少しある。	S/T	res	la
21	T	どんなの？神経質って？L 1さん	T/S	sol	la
22	L 1	例えば、出かけた後で、ドアを閉めたかなあって気にする。 心配。	S/T	res	pv+la
23	T	そうですね。	T/S	rea	la
		それから、他の単語で・・・この場合「が」だったら「注目が集まる」、	T/C	sol	la
		「注目を」だったら？			la
24	C	集める	C/T	res	la
25	T	あとの単語はいいですね。	T/C	rea	la+lv
		では、L 6さん、「まねをする」からお願いします。	T/S	sol	la+lv
26	L 6	まねをする、甘える、いわゆる、赤ちゃん返り現象（けんしょう？はつきりは聞き取れなかったが、発音を間違えた）	S/T	res	la+lv
27	T	げんしょう	T/S	rea	la+lv
28	L 6	しっかりする、我慢する、ストレス、性格、影響を与える。	S/T	res	la+lv
29	T	「まねをする」・・・L 6さん、どういうこと？ まね・・・聞いたことある？	T/S	sol	la
30	L 6	いいえ。	S/T	res	la
31	T	「まねをする」・・・意味が分かる人いますか？	T/C	sol	la
32	SS	コピーする。	SS/T	res	la
33	T	できますか？L 7さん、誰かのまねできますか？	T/S	sol	la
34	L 7	動物のまねもできます。	S/T	res	la
		(全員の笑い)			pa
35	L 8	男の声ができる。	S/T	res	la
		(他にも色々言っているようだ)			na

		が、聞き取れない)			
36	T	動物のまね、人のことをまねする・・・もできます。色々ね。まねをする。	T/C	rea	la
		えー？L4さん、なんかまねができるの？	T/S	sol	la
37	SS	やって・・・やって・・・。	SS/S	sol	la
		(笑い)			pa
38	L4	(ジェスチャーを交えてL8さんのまねをする)			pv
		同じさ～！	S/C	res	la+pv
		(拍手、大笑い)			pa + pv
39	T	L8さん、そう？	T/S	sol	la
		同じさ～！こうやるの？	T/C	res	la+pv
		(L4がやったようにジェスチャーをやってみせる)			pv
		(全員の笑い)			pa
40	L8	ちがうー。えー？わからなーい。	S/T	res	la
41	T	じゃー、皆さん、L8さんが「同じさ～！」ってやる時、見ておいて下さいね。	T/C	rea	la+pv
		(全員笑う)			pa
		自分じゃ気付きませんからね。何をするかね。	T/C	rea	la
42	L8	その時、なんか・・・出てきたかなあ？分からない。	S/T	res	la+pv
43	T	そうですね。では、見ておきます。	T/S	rea	la
		はい、「甘える」・・・	T/C	sol	la+lv
		えーと、あー、えー、L9さんは、甘えるの好きでしょう？	T/S	sol	la
44	L9	好き。	S/T	res	la
45	T	好き。	T/S	rea	la+pv
		うん！甘えたい？		sol	la
46	L9	甘えたい。	S/T	res	la+pv
47	T	甘えたい。	T/S	rea	la
		誰に？誰に甘えたいの？		sol	la
48	L2	今、そばに座っている人(きれいな日本人学生が側に座っている。L9は、授業中にそのきれいな日本人学生とおしゃべりをしている)	S/T	res	la+pv
49	T	そばに座っている人に甘えたい。	T/S	rea	la
		いいですね。	T/C	rea	la
		(笑い)			pa
		甘える。大丈夫？はい。「いわゆる」っていうのは、後で出てきますから、そこで説明します。	T/C	rea	la+lv
		「赤ちゃん返り現象」っていうの、聞いたことある？「赤ちゃん返り現象」・・・聞いたことないですか？	T/C	sol	la+lv

		どういふことか・・・。			
50	C	分からない。(全員、首をふるか、分からない様子を見せる)	C/T	res	la+pv
51	T	じゃー、日本人の方、えーと・・・ (日本人の学生)さん、じゃー、「赤ちゃん返り現象」ってどういふこと?	T/S	sol	la
52	JS	もう、赤ちゃんじゃない人が、あの一、妹とか弟に嫉妬して、赤ちゃんみたいなことをやって、お母さんの気をひこうとすること。	S/T	res	la
53	T	今ので、意味、分かりましたか?	T/C	sol	la
54	L7	分からない。 (笑い)	S/T	res	la pa
55	T	分からないって、 どうする? もう1回分かりやすく説明して下さい。	T/S	rea sol sol	la la la
56	JS	赤ちゃんのまねをして甘えたがること。注目を集めること。	S/T	res	la
57	T	あの一、例えば、上の子は、3歳とか4歳になっています。赤ちゃんが生まれたとします。生まれます。 その時、お母さんは、どっちを・・・上の子?生まれたばかりの赤ちゃん?どっちを面倒見ますか?	T/C	sol	la
58	C	赤ちゃん		res	la
59	T	赤ちゃんのほうですよ。まだ小さい生まれたばかりの方ですよ。 そしたら、今までお母さんは、上の子の面倒を見ていたんですよ。ところが、下が生まれたでしょう? そしたらその赤ちゃんばかりみて、上の子はどうですか?	T/C	rea sol	la la la
60	SS	焼きもちやく。寂しい。	SS/T	res	la
61	T	そしたら、どういふ行動に出ると思いますか?	T/C	sol	la
62	SS	赤ちゃんに返る。	SS/T	res	
63	T	赤ちゃんになって、お母さんに自分も面倒を見てと甘えるんですね。 赤ちゃんに返る現象。今やったらダメですよ! (笑い)	T/C	rea	la la+pv pa

#	話者	質問・行動	S/T	Move	Medium
64	T	3歳、4歳、小さい子がやることですね。	T/C	rea	la

		でもまあ恋人同士の時に、もしかして皆さんね、内緒だけどやっている時もあると思いますが、それは赤ちゃん返り現象とはいいいません。			la
		(笑い)			pa
65	SS	そんな～!	SS/T	rea	la+pv
		(笑い)			pa
66	T	しっかりする、しっかりしています、これもいいですね。がまん、ストレス、そのあたりは皆さん、まあ大丈夫でしょう。	T/C	rea	la+lv
		それでは、はい、次、16ページの「聞きましょう」を見てください。話を聴いてください。そしてa～dの内容に、合っているものには○、違っているものには×。CDを聴いてください。	T/C	str	la+lv
		(CDの頭出しに時間が少しかかる)			S
		ごめんなさい。13番か。(独り言でトラックナンバーを言う)			la+s
		(内容が流れる) はい。聴いてください。	T/C	sol	la+na
		(みんな静かに聴いている。1分程度)			s+na
67	T	(CDを止める) はい、ちょっと止めます。あの～これは、アンケート、あ、調査をしたんですね。	0/C	sol	la
		えーと、誰に聞きましたか。誰に聞いたの?このアンケートは、			la
68	C	お母さん	C/T	res	la
69	T	そうですね。		rea	la
		母親に聞いたんですね。それで、えーっと、ここは、えー、どこの大学の医学部ですか?	0/C	sol	la
70	C	東海大学の医学部	C/T	res	la
71	T	東海大学の医学部の調査でわかったということですね。	T/C	rea	la
		何人ぐらいのお母さんにアンケートを取りましたか?	0/C	sol	la
72	C	1,000人。	C/T	res	la
73	T	1,000人だったね。1,000人。	T/C	rea	la
		それで、結果、一番上の子供は下より何と言っていますか?	0/C	sol	la
74	C	神経質	C/T	res	la
75	T	神経質で、	T/C	rea	la
76	C	緊張しやすい	C/T	res	la
77	T	緊張しやすいと言っていますね。	T/C	rea	la
		2番目、3番目、下に行けば行くほど、どうなるの?	0/C	sol	la
78	C	のんびりしている。	C/T	res	la

79	T	のんびりしている。	T/C	rea	la
		ここまでの全部の内容ですね。続き行きます。聴いてください。		sol	la+na
		(CDを流す。1分程度)			na+s
80	T	はい、えーと、例えば、あの一、弟や妹が生まれた時に、えー上の子供はお母さんに対してどんな気持ちになるの？	T/C	sol	la
81	L1	お母さんが取られちゃった感じ。	S/T	res	la
82	T	取られた感じね。	T/S	rea	la
		お母さんが下の赤ちゃんにとられた感じがする。うん。	T/C	rea	la
		ですから、何ですか。えーと、気持ちが・・・		sol	la
83	C	不安定。	C/T	res	la
84	T	気持ちが不安定になると言っていますね。	T/C	rea	la
		で、えーと、例えば、あの一、お母さんはお兄さんに向かって何と言いますか。何と言うの？お兄ちゃんだから・・・？		sol	la
85	L2	しっかりしてください。	S/T	res	la
86	T	しっかりしなさい。	T/C	rea	la
		お姉ちゃんだから・・・？		sol	la
87	C	我慢しなさい。	C/T	res	la
88	T	我慢しなさいとか。	T/C	rea	la
		そういう風に言うと、逆に上の子供はどうなるの？		sol	la
89	L3	ストレス。	S/T	res	la
90	T	ストレスがたまるとですね。	T/C	rea	la
		そういう風なことが多いということですね。		rea	la
		はい、えーと、今、ここまで聴いているけど・・・、1回、じゃあ、問題、聴いて、もし分からなかったらもう1回聴きますので。じゃあ、問題聴いてください。a, b, c, d, Oか×で答えてください。		str	la +lv+na
		(CDを流す。30秒程度)			na+s
91	T	(CDを止める) そんなに難しくな いかな？(独り言のような) 大丈夫ね。いいですね。難しいで すか？1回だけで分かる？1回だけ で分かった？やってみる？いいで すか？	T/C	sol	s+na+la
		aの「兄弟の一番上の子供よりも、 一人っ子のほうが神経質で緊張し やすい。」これは、皆さんは？答え は何？	O/C	sol	la+lv
92	C	ばつ。	C/T	res	la
93	T	全員 ×？		rea	la
		どうして？	T/C	sol	la

		えーと、待ってよ。どこまで行ったかな？(当てる順番を忘れてしまう) あー、タイカンさん?何になった?	T/S	sol	la+nv
94	L4	ばつ、まる、ばつ、ばつ	S/T	res	la+lv
95	T	もう全部?	T/S	rea	la
		(笑い)			pa
		じゃあ、なぜ最初の答えはバツなの?	T/S	sol	la
96	L4	問題は何か?	S/T	res	la
		(笑い)			pa

(資料5)

アンケート調査「日本語の授業」について

研究論文の参考資料にしたいと思いますので、よろしくご協力をお願いします。

性別： 男性 / 女性 学年：1年次 / 2年次 / 3年次 / 4年次

- もし、皆さんが日本語教師になって、自分の授業について自己点検を行うとしたら、どの方法を使用しますか。以下の方法の中で、いいと思う順番で3つ選んでください。 1番 () 2番 () 3番 ()
 - ① 自分自身の授業をビデオ・音声テープに記録して授業観察を行う。
 - ② 他の教師に授業観察とコメントをしてもらう。
 - ③ 授業後に反省点をメモする。
 - ④ チェックリストで自己評価をする。
 - ⑤ 学習者からの評価(アンケート、評価票、直接聞く等)を得る。
 - ⑥ その他 ()
- 学生に教科書を読ませていました。読んでいる単語の発音に間違いがあった場合、どうしますか?

例： 学生の発話：まねをする、甘える、いわゆる、赤ちゃん返り現象
(けんしょうと発音する)、しっかりする、我慢する、
ストレス、性格、影響を与える。

 - ① 特に間違いを指摘しない。
 - ② 今回の場合は、「げんしょう」と「けんしょう」で、大きな間違いではないので、直さない。
 - ③ 「けんしょう」と言ったあとで、すぐに正確な発音を言って、発音し直させる。
 - ④ 「影響を与える」と最後まで全部言わせてから、間違っで発音した部分を取り上げて、指導する。
 - ⑤ 授業が終わってから、その学生のところへ行行って、発音の指導をする。
 - ⑥ その他 ()

上の答えを選んだ理由も書いてください。

()

3. 以下の教師と学生の発話を見て質問に答えてください。

例: T: 長男の特徴は?

S: あまり緊張しない。

T: 緊張しない。長女と長男、似ていますか?

S: 似ている。

T: 似ているところがあるかもしれませんね。

3-1. TはSの発話の後、学生の言ったことをそのまま繰り返しています。

それについて、どう思いますか。

- ① 不自然な会話だと思う。
- ② 日本語教師には、よくある発話パターンだと思う。
- ③ 繰り返さないほうが良いと思う。
- ④ その他 ()

3-2. なぜTは繰り返していると思いますか。

- ① Sが言ったことを確認するため。
- ② 「聞いているよ」ということを示すため。
- ③ Sの発話が正しい、正しくないということを間接的に伝えるため。
- ④ その他 ()

3-3. 話し方について

- ① 教師も学生も丁寧体(です・ます体)で話したほうが良い。
- ② 教師は普通体(だ体)で話してもいいが、学生は丁寧体のほうが良い。
- ③ 教師も学生も普通体のほうが良い。
- ④ 中級レベルになると、教師も学生もどんな話し方でも構わない。
- ⑤ その他 ()

2. よりよい授業を行う際に、大切なことは何ですか。

あてはまるもの 3つに ○をつけてください。

- ① 学習者の希望やニーズを調査する。
- ② 同僚等との相談・意見交換をする。
- ③ 他の教師の授業を観察する。
- ④ 研究会・勉強会に参加する。
- ⑤ 教材(自分のもの・他の教師のもの)を検討する。
- ⑥ 文献を読む。
- ⑦ 外国語を学習する。
- ⑧ 日本についての知識を深める。
- ⑨ 健康管理・体力増進
- ⑩ 自己点検評価
- ⑪ その他 ()